

(1 3) 鋳業 (非鉄金属製錬・精製業)

15 / 14 16 / 15 伸び率 10%以上 ● 伸び率 0 ~ 10%
: 天気図マーク; 伸び率 0 ~ 10% 伸び率 10%以下

1 . 企業経営動向

(1) 需要 (表 - 1 ~ 3 参照)

【銅】15年度の国内需要は建設 (住宅、ビル等の配線)、自動車向け電線やデジタル家電、自動車、産業用半導体、パソコン用コネクタなど電子部品向け伸銅品が好調に推移したため前年度比3.3%増の1,179.3千トとなった。

16年度は、電線、伸銅品とも15年度とほぼ同水準で推移すると見込まれることから、全体としては同0.2%増の1,182.0千トの見通しである。

【鉛】15年度の国内需要は、主たる需要先である蓄電池向けが蓄電池メーカーの海外シフトが更に進んだことから国内メーカー向けが減少したため、前年度比2.9%減の204.8千トとなった。16年度は、蓄電池の国内需要は15年度とほぼ同水準で推移すると見込まれることから、同0.6%減の203.5千トの見通しである。

【亜鉛】15年度の国内需要は、主たる需要先である亜鉛めっき鋼板向けが輸出用鋼板 (特に中国向け) の生産増により好調に推移したものの、その他めっき向けが公共投資の低迷から建材の需要低迷を受け大幅減になったことから、前年度比2.3%減の480.9千トとなった。16年度においては、亜鉛めっき鋼板及び自動車向け伸銅品 (黄銅) 等が好調に推移するものと見込まれ、同2.9%増の494.7千トの見通しである。

(2) 生産・設備稼働 (表 - 1 ~ 3 参照)

【銅】生産については、15年度は国内需増の影響により前年度比1.0%増の1,428.0千トとなった。16年度は15年後半に発生したインドネシアの主要鋳山における事故の影響により輸入銅鋳石の減少が見込まれていることから、前年比1.6%減の1,405.5千トの見通しである。このため、製錬各社は、国内需要の対応を優先させるため輸出に慎重となるとともに、国内需要の予想以上の拡大に対応するため、在庫量の増加を図ると予想される。、その結果、16年度の期末在庫量については同21.0%増の130.0千トの見込みである。16年度の稼働率は、生産減等により、前年と比較して若干の低下となり、92.1%と見込まれる。

【鉛】生産については、15年度は、14年度中に操業停止した製錬所の生産が回復したことで前年度比6.8%増の227.2千トとなった。16年度は一部製錬所の定期補修の影響が若干あるものの、15年度とほぼ同水準の224.3千ト (同1.3%減) となる見通しである。16年度の稼働率も同様に前年度とほぼ同水準の81.6%で推移する見込みである。期末在庫量については、15年度は同2.2%減の17.9千トで、16年度は同3.4%増の18.5千トの見通しである。

【亜鉛】生産については、15年度は14年度とほぼ同水準の前年度比0.6%増の643.6千トとなった。16年度は内需の微増が見込まれていることから、同0.8%増の648.7千トの見通しである。16年度の稼働率は、設備能力に変化が無いため15年度とほぼ

同水準の同0.7%増の92.2%となる見込みである。期末在庫量については、15年度は前年度比2.1%増の87.7千トとなり、16年度は輸入増の影響により同6.5%増の93.4千トを見込んでいる。

(3) 企業収益（非鉄大手 8 社、単体ベース：表 - 4 参照）

平成15年度の非鉄大手 8 社の売上高は前年度比7.5%増の17,407億円、経常利益は同78.3%増の832億円と増収増益となった。これは、銅、鉛、亜鉛等主要非鉄金属の買鉱条件の悪化、円高の影響等マイナス要因はあったものの、金属価格の上昇、国内外の旺盛な需要等によりプラスに転じたもの。

16年度については、各社ともこの流れが継続するものと予想している。

2．設備投資動向（グラフ 1 参照）

14年度設備投資額は、生産能力の増強投資があったものの、IT分野への投資抑制や投資分野の厳選等により、前年度比33.5%の減少となった。

15年度設備投資額は、一部で投資を控える動きが見られるものの、生産能力増強や設備の更新・維持を積極的に進める動きが見られ、前年度比73.8%と大幅に増額となる見込みである。

16年度設備投資計画は、生産能力増強及び設備の更新・維持が投資目的の 7 割を占める等構成に変化はなく、全体の額もほぼ前年並みとなる見込みである。

3．長期資金調達・運用動向

(1) 長期資金運用動向

15年度は、各社とも大きな変化はなく、手元流動性の圧縮及び減価償却費内での設備投資の厳選等により有利子負債を削減する方向で運用される見込みである。

16年度もほぼ同様の動きとなる見込みである。

(2) 長期資金調達動向

15年度は、各企業とも直接・間接金融のバランスを取りながら、借入金を圧縮させる傾向に変わりはない見込みである。

16年度もほぼ同様の動きとなる見込みである。

（グラフ 1：設備投資の前年度比の推移）

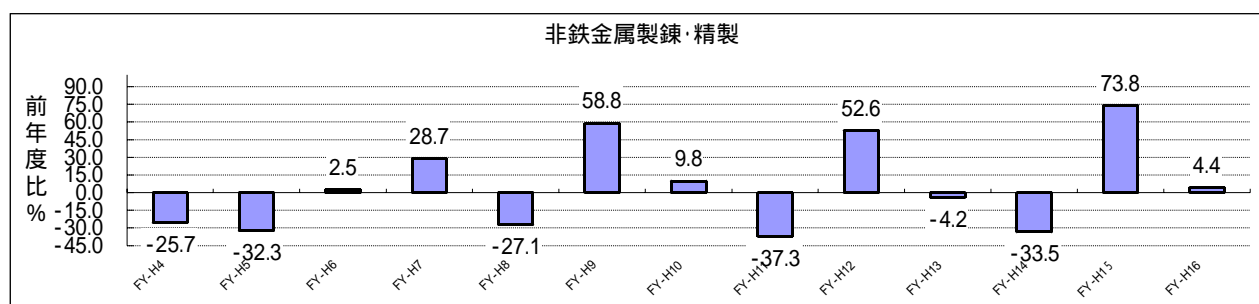


表 - 1 銅地金の需給実績及び見通し

(単位:千トン)

			13年度	14年度	15年度	16年度		
						上期	下期	計
期	初	在 庫	113.6	113.8	112.8	107.4	130.0	107.4
供	生 産	国 内 鉱 出	0.2	0.6	1.9	0.5	0.5	1.0
		海 外 鉱 出	1,263.0	1,222.8	1,233.7	611.3	608.2	1,219.5
		そ の 他 出	141.8	190.4	192.4	95.0	90.0	185.0
		小 計	1,405.0	1,413.8	1,428.0	706.8	698.7	1,405.5
	輸 入	138.1	107.4	78.3	45.0	35.0	80.0	
給	給 計		1,656.7	1,635.0	1,619.1	859.2	863.7	1,592.9
需	内 需	電 線	721.3	708.8	728.6	355.0	372.0	727.0
		伸 銅 品	349.8	405.7	423.5	214.0	211.0	425.0
		そ の 他	24.4	27.3	27.2	15.0	15.0	30.0
		内 需 計	1,095.5	1,141.8	1,179.3	584.0	598.0	1,182.0
	輸 出	453.3	336.9	272.2	121.0	121.0	242.0	
要	要 計		1,548.8	1,478.7	1,451.5	705.0	719.0	1,424.0
期	末	在 庫	113.8	112.8	107.4	130.0	130.0	130.0
過	欠		5.9	43.5	60.2	24.2	14.7	38.9
設	備 能 力		1,496.4	1,496.4	1,518.9	763.2	763.2	1,526.4
稼 働 率 (%)			93.9	94.5	94.0	92.6	91.5	92.1
地金再資源化率 (%)			10.1	13.5	13.5	13.4	12.9	13.2

注) 地金再資源化率とは、地金生産量に占めるその他(くず等)の割合をいう。
(出所)業界ヒアリング結果に基づく

表 - 2 鉛地金の需給実績及び見通し

(単位:千トン)

				13年度	14年度	15年度	16年度		
							上期	下期	計
期	初 在 庫			22.2	42.2	18.3	17.9	19.5	17.9
供	生 産	国 内 鉱 出		5.1	5.5	4.7	1.7	2.2	3.9
		海 外 鉱 出		121.3	98.8	99.0	40.2	43.0	83.2
		そ の 他 出		109.6	108.4	123.5	65.7	71.5	137.2
		小 計		236.0	212.7	227.2	107.6	116.7	224.3
	輸 入		32.1	9.0	9.7	7.0	2.0	9.0	
給	給 計			290.3	263.9	255.2	132.5	138.2	251.2
需	内 需	鉛 管 板		2.7	2.9	2.9	1.5	1.4	2.9
		蓄 電 池		178.6	170.6	162.1	79.0	84.0	163.0
		無 機 薬 品		27.2	20.6	22.1	10.0	11.0	21.0
		は ん だ		6.0	7.0	6.6	3.3	3.3	6.6
		そ の 他		17.2	9.9	11.1	5.0	5.0	10.0
	内 需 計		231.7	211.0	204.8	98.8	104.7	203.5	
輸 出		4.0	9.5	6.2	4.0	5.0	9.0		
要	要 計			235.7	220.5	211.0	102.8	109.7	212.5
期	末 在 庫			42.2	18.3	17.9	19.5	18.5	18.5
過	欠			12.4	25.1	26.3	10.2	10.0	20.2
設	備 能 力			274.2	274.8	274.8	137.4	137.4	274.8
稼 働 率 (%)				86.1	77.4	82.7	78.3	84.9	81.6
地金再資源化率 (%)				46.4	51.0	54.4	61.1	61.3	61.2

注) 地金再資源化率とは、地金生産量に占めるその他(くず等)の割合をいう。
(出所)業界ヒアリング結果に基づく

表 - 3 亜鉛地金の需給実績及び見通し

(単位:千トン)

			13年度	14年度	15年度	16年度		
						上期	下期	計
期	初	在 庫	112.2	106.7	85.9	87.7	87.7	87.7
供	生 産	国 内 鉱 出	41.2	46.5	49.8	21.2	25.0	46.2
		海 外 鉱 出	504.8	495.3	477.1	242.9	261.5	504.4
		そ の 他 出	102.3	98.1	116.7	48.4	49.7	98.1
		小 計	648.3	639.9	643.6	312.5	336.2	648.7
	輸	入	54.8	27.1	38.8	42.6	18.9	61.5
給	給 計		815.3	773.7	768.3	442.8	442.8	797.9
需	内 需	亜鉛めっき鋼	271.4	234.3	244.3	124.4	124.3	248.7
		その他めっき	82.2	98.2	84.1	39.2	46.6	85.8
		伸 銅 品	56.6	64.9	64.5	35.6	33.2	68.8
		ダ イ カ ス ト	49.7	40.9	48.2	19.4	21.9	41.3
		そ の 他	55.3	53.8	39.8	26.6	23.5	50.1
	内 需 計		515.2	492.1	480.9	245.2	249.5	494.7
要	輸	出	83.3	88.6	61.0	36.8	36.8	73.6
需	要 計		598.5	580.7	541.9	282.0	286.3	568.3
期	末	在 庫	106.7	85.9	87.7	87.7	93.4	93.4
過	欠		110.1	107.1	138.7	73.1	63.1	136.2
設	備 能 力		703.2	703.2	703.2	351.6	351.6	703.2
稼	働 率 (%)		92.2	91.0	91.5	88.9	95.6	92.2
地	金再資源化率 (%)		15.8	15.3	18.1	15.5	14.8	15.1

注) 地金再資源化率とは、地金生産量に占めるその他(くず等)の割合をいう。
(出所)業界ヒアリング結果に基づく

表 - 4 企業経営動向(非鉄大手8社、単体ベース)

(単位:億円、%)

	14年度実績	15年度実績	16年度計画
売 上 高	16,188	17,407	17,642
営 業 利 益	559	682	-
(営業利益率)	(3.5%)	(3.9%)	-
経 常 利 益	467	832	887
(経常利益率)	(2.9%)	(4.8%)	(5.0%)

(注) 非鉄大手8社決算短信、他決算資料より作成